

キールンカンコノキ

か めい
科名 トウダイクサ

がくめい
学名 Glochidion lanceolatum

べつ めい
別名



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶん
分 布 おきのえらぶしま おきなわほんとう や えやましょとう
沖永良部島、沖縄本島、八重山諸島、
台湾、フィリピン

は かたち
葉 の 形 ちょうだえんけい
長楕円形

は ふち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 えいけい
鋭形

は しゅるい きすううじょうふくよう
葉 の 種 類 奇数羽状複葉

は つきかた ごせい
葉 の 付 方 互生

は き ぶ くさびがた せつけい
葉 の 基 部 くさび形、切形

み しゅるい さくか
実 の 種 類 蒴果

は な がくいろ みどりいろ めだ たないいろ
花・萼色 緑色や目立たない色

せつめい
説 明 たか 高さ 10m になる 常 緑 の高木で、枝は無毛です。葉は革質で全縁、互生し両面とも無毛の長楕円形、葉先は鋭形、葉の基部は切形または広いくさび形です。葉の長さ 5-9 cm、幅 2-3.5 cm で、葉の側脈が目立ちます。花は葉腋に 8-10 mm の短い花軸が出て 6 個から 10 個の花が咲きます。実は葉腋から 紫色をした扁平形で球形の実を 6 個から 8 個つけます。